

	質問	回答
1	本事業のホームページ作成は必須事項か。	<ul style="list-style-type: none"> ・仕様書「第3 業務の内容 3 広報」に記載のとおり、広報にあたっては、「本事業のホームページ、SNS やポスター・チラシ等を作成する」こととしていることから、ホームページ作成は必須事項ではありません。 ・一方、仕様書「第3 業務の内容 2 支援対象者への伴走支援」に記載のとおり、支援対象者の募集にあたっては、「ホームページ上で応募を受け付ける」こととしているため、ホームページ作成が必要となります。
2	県として「ディープテック」に限定した具体的な背景は何か。	<ul style="list-style-type: none"> ・仕様書「第1 業務の目的・概要」に記載のとおり、「地域経済を活性化させるためには、科学根拠に根差した革新的な技術であるディープテック領域の技術シーズ（研究成果）を一つでも多く社会実装につなげていき、経済成長の原動力であるディープテック領域スタートアップを創出することが重要である。我が国の理工系の研究機関・大学は高い研究開発力を有しており、また、本県には、理工系の研究機関・大学が数多く存在し、ディープテック領域スタートアップを生み出すための素地があること」から、ディープテックに限定しました。
3	今年の公募で「これだけはやりたい」という具体的な課題やボトルネックは何か。	<ul style="list-style-type: none"> ・仕様書「第3 業務の内容」に記載のある項目については、全て実施する想定です。 ・なお、仕様書に記載のある項目以外については、「第3 業務の内容 5 留意事項」に記載のとおり、「本事業の効果を高めることができる取組などについて、独自に企画提案できるものとする」としています。
4	千葉県としては大学支援の手薄さを感じているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・仕様書「第1 業務の目的・概要」に記載のとおり、「我が国の理工系の研究機関・大学は高い研究開発力を有しており、また、本県には、理工系の研究機関・大学が数多く存在し、ディープテック領域スタートアップを生み出すための素地があること」から、本事業を実施する必要があると考えています。
5	想定している対象大学は千葉大学・千葉工業大学・明海大学の3校が中心と考えてよいか。千葉大学1校だけでなく、横断的に取り組む形が望ましいか。	<ul style="list-style-type: none"> ・企画提案募集要項別紙2「選考基準」において、「事業の趣旨を十分に理解した企画提案になっているか。」「事業の趣旨に鑑みて効果的な独自提案がなされているか。」などの項目を設けています。こちらの選考基準をもとに、選考委員会等で、事業者を決定しますので、この点を踏まえご提案ください。
6	本年度事業で重視したいKPI等はあるか。 (支援数、各シーズの進捗、外部資金獲得、大学産連との連携構築 など)	<ul style="list-style-type: none"> ・現時点で設定しているKPI等は仕様書に記載した項目以外にありませんが、受託者が決定した後、協議の上、設定する予定です。

7	<p>次年度事業への接続があるものと想定している。その観点で、残したい成果・KPIは何か。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現時点で、仕様書に記載の項目以外に、KPI等は設定していません。 ・仕様書「第3 業務の内容 1 技術シーズを持つ研究者等の掘起し」に記載のとおり、掘起しについては、「契約締結日から令和9年3月31日(水)まで」と、通年で実施することとしており、本業務での成果については、次年度以降の県施策に活用する予定です。
8	<p>提出書類 2. 企画提案書について、「任意様式」と記載がございますが、こちらはパワーポイント等でA4 横向/横書きの様式で問題ないか。</p> <p>企画提案書募集要項 P3 では、「企画提案書は、A4 縦型横書きで記載すること」と記載があるため、確認したい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・A4 横向/横書きの様式で問題ありません。
9	<p>企画提案書の提出にあたり、社名・団体名等をマスキングしたデータの送付は必要か。</p> <p>(マスキングが必要な場合、マスキング対象範囲〔社名/ロゴ/担当者名/実績の固有名詞等〕や、ファイル名の付け方の指定があれば併せてご教示いただきたい。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・企画提案書の提出にあたり、マスキングの必要はありません。
10	<p>申請書について、手書きによる記入が必須か。それともPC上のタイピング記入で問題ないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・PC上のタイピング記入で問題ありません。 ・なお、申請書は押印不要です。
11	<p>申請書について、「運営管理体制、総括責任者の経歴書含む」とあるが、様式1申請書ワードファイルの2頁に記載するイメージでよろしいか。パワーポイント等で申請書とは別ファイルで運営管理体制、総括責任者の経歴書を記載しても問題ないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運営管理体制、総括責任者の経歴書について、様式1申請書ワードファイルの2頁に記載する形で問題ありません。 ・また、パワーポイント等、申請書とは別ファイルで記載いただいても問題ありません。

12	<p>所要経費積算書について、手書きによる記入が必須か。それとも PC 上のタイピング記入で問題ないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ PC 上のタイピング記入で問題ありません。 ・ なお、所要経費積算書は押印不要です。
13	<p>誓約書について、手書きによる記入が必須か。それとも PC 上のタイピング記入で問題ないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ PC 上のタイピング記入で問題ありません。 ・ なお、誓約書は押印が必要です。電子押印は不可となります。
14	<p>仕様書には、「本県には、理工系の研究機関・大学が数多く存在し」と記載がある。東京大学柏の葉キャンパス、千葉大学、東京理科大学といったアカデミア拠点に加え、国立がん研究センターや産業技術総合研究所（AIST）が該当するかと思うが、他に対象となりうる機関があればご教示いただきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本事業の実施にあたっては、本事業がより効果的に実施できるよう、県が持っている情報だけでなく、事業者の皆様だけが持つ研究機関等に係る「独自」の情報を活用させていただきたいと考え、業務委託に当たっては、企画提案（プロポーザル）方式を導入しており、企画提案募集要項別紙2「選考基準」において、「技術シーズの掘起しに当たり、理工系の研究機関・大学とのネットワークを有しているか。」という項目を設けていますので、そちらを踏まえご提案ください。
15	<p>仕様書には「ホームページ上で応募を受け付けるとともに、その状況を定期的に県に報告すること。」とあるが、千葉県ホームページ上で特設ページをもうけ、応募受け付けることを想定しているか。もしくは別途受託者の方でホームページを作成し、そちらで応募受け付けることを想定しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ホームページ」の仕様の想定はありません。 ・ 具体的な応募受付の方法については、受託者の決定後、協議の上、決定する予定です。

16	<p>提出方法について、「大容量のデータ送信が可能なファイル転送システム等を使用することとします。」とあるが、指定のシステムはあるか。弊社ではギガファイル便を使用させていただくケースが多く、問題なければこちらで対応させていただきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ギガファイル便による提出で問題ありません。
17	<p>支援対象の範囲について、「県内外の研究者」とあるが、他県の研究拠点所属であっても「将来的に千葉県内での起業・拠点設置」に強い意欲がある場合は、掘り起こしおよび伴走支援の対象となるか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 仕様書「第3 業務の内容」に記載のとおり、他県の研究拠点所属であっても、「科学根拠に根差した革新的な技術シーズを持つ研究者等で、将来的に千葉県での法人設立を予定している者」であれば、掘り起こし及び伴走支援の対象となります。
18	<p>支援対象の範囲とフェーズだが、本事業において、既に法人化済みのスタートアップは対象に含まれるか。それとも「未起業のシーズ」の掘り起こしを最優先事項としているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 支援対象者は、仕様書「第3 業務の内容」に記載のとおり、「科学根拠に根差した革新的な技術シーズを持つ研究者等で、将来的に千葉県での法人設立を予定している者」としており、起業前の方が対象になります。
19	<p>既に「令和8年度革新的スタートアップ成長促進事業」等の広範な施策があるが、既存施策との具体的な棲み分け（役割分担）をご教示いただきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「令和8年度ディープテック領域スタートアップ創出支援事業」は、将来的にスタートアップとして起業を予定している研究者等を対象とした事業であり、「令和8年度革新的スタートアップ成長促進事業」は、原則、既に起業したスタートアップを対象とした事業になります。